



## 2019年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月13日

上場会社名 システムズ・デザイン株式会社  
 コード番号 3766 URL <http://www.sdcj.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 隈元 裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 岡本 芳明

TEL 03-5300-7800

定時株主総会開催予定日 2019年6月25日

配当支払開始予定日

2019年6月26日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	9,084	9.5	39	81.6	51	78.6	105	21.9
2018年3月期	8,295	6.6	216	54.9	239	55.6	134	206.9

(注) 包括利益 2019年3月期 87百万円 (44.9%) 2018年3月期 158百万円 (129.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	30.15		2.7	0.9	0.4
2018年3月期	38.59		3.5	4.1	2.6

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 百万円 2018年3月期 1百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	5,910	3,913	66.2	1,119.39
2018年3月期	5,858	3,872	66.1	1,107.40

(参考) 自己資本 2019年3月期 3,913百万円 2018年3月期 3,872百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	132	27	143	2,543
2018年3月期	222	71	164	2,526

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		0.00		13.00	13.00	45	33.7	1.2
2019年3月期		0.00		13.00	13.00	45	43.1	1.2
2020年3月期(予想)		0.00		13.00	13.00		37.3	

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,293	2.3	227	470.1	232	354.6	121	15.7	34.87

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	3,940,000 株	2018年3月期	3,940,000 株
期末自己株式数	2019年3月期	443,485 株	2018年3月期	443,361 株
期中平均株式数	2019年3月期	3,496,565 株	2018年3月期	3,496,639 株

(参考)個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	6,481	10.5	48		84	27.7	173	108.8
2018年3月期	5,864	3.0	75	24.8	117	38.9	82	192.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	49.53	
2018年3月期	23.73	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	5,521	3,866	70.0	1,105.85
2018年3月期	5,144	3,744	72.8	1,071.02

(参考) 自己資本 2019年3月期 3,866百万円 2018年3月期 3,744百万円

2. 2020年3月期の個別業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,733	3.9	109	29.6	68	60.2	19.73

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(当期連結会計年度における重要な子会社の異動) .....	12
(追加情報) .....	12
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17
4. その他 .....	18

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続く中、金融緩和や各種経済政策を背景として、緩やかながら景気回復基調で推移しました。一方で、政策に対する不確実性、米中貿易摩擦など通商問題に起因する金融資本市場の変動など、経済環境は依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する情報サービス分野においては、企業のIT投資は堅調に推移しておりますが、一方でIT技術者は不足している状況が続いております。

このような状況の下、当社グループでは継続案件や新規案件の受注確保、人材育成及び採用活動への投資などに注力してまいりました。

この他、BPOサービスの領域拡大の観点から株式会社フォーを完全子会社化するとともに、弊社の事業ポートフォリオの見直しと子会社の更なる成長路線の実現のために連結子会社の株式会社アイデスを株式譲渡いたしました。

また、2018年12月14日に公表いたしましたとおり、データ入力受託業務における契約及び法令違反が判明いたしました。

この結果、当連結会計年度における売上高は9,084,205千円（前年同期比9.5%増）となり、営業利益は39,932千円（同81.6%減）、経常利益は51,175千円（同78.6%減）となりました。

また、子会社株式売却益255,535千円、受託契約関連損失143,312千円等により、当期純利益は105,421千円（同21.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① システム開発事業

システム開発事業につきましては、継続案件や新規案件の受注確保に注力し新規の開発案件の確保ができた一方で、連結子会社の株式会社アイデスの株式譲渡による影響、また、長期の受託開発案件にて発生していた当初計画からの遅延により受注損失等の計上がありました。

この結果、当連結会計年度における売上高は5,124,904千円（前年同期比3.2%増）、営業損失は△18,498千円（前年同期は140,307千円の営業利益）となりました。

#### ② アウトソーシング事業

アウトソーシング事業につきましては、連結子会社による業績寄与がりましたが、データ入力受託業務における契約及び法令違反が判明し、顧客対応による販管費等の増加の影響がありました。

この結果、当連結会計年度における売上高3,959,301千円（前年同期比18.9%増）、営業利益は58,431千円（前年同期比23.6%減）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における資産の残高は5,910,462千円となり、52,130千円の増加となりました。

流動資産においては、12,671千円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少53,605千円、仕掛品の増加54,223千円、現金及び預金の増加16,585千円によるものであります。

固定資産においては、39,459千円の増加となりました。これは主にのれんの増加45,112千円によるものであります。

#### (負債)

当連結会計年度末における負債の残高は1,996,505千円となり、10,343千円の増加となりました。

流動負債においては249,097千円の増加となりました。これは主に受注損失引当金の増加203,304千円によるものであります。

固定負債においては238,753千円の減少となりました。これは主に退職給付に係る負債の減少182,317千円によるものであります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は3,913,956千円となり、41,786千円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加59,965千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は66.2%（前連結会計年度は66.1%）となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前当期純利益が146,177千円（前年同期比38.7%減）となり、子会社株式売却損益△255,535千円、受注損失引当金の増減額203,304千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出△149,772千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入215,191千円、借入金の返済による支出△99,996千円、配当金の支払額△45,456千円等により、当連結会計年度末には2,543,570千円となりました。その結果資金残高は、前連結会計年度末に比べ16,585千円の増加となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は132,369千円（前連結会計年度は222,023千円の資金の獲得）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益の146,177千円、のれん償却額77,647千円、子会社株式売却損益△255,535千円、受注損失引当金の増減額203,304千円、受託契約関連損失引当金の増減額58,177千円、法人税等の支払額又は還付額△115,924千円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は27,639千円（前連結会計年度は△71,793千円の資金の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出△30,959千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出△149,772千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入215,191千円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は△143,423千円（前連結会計年度は△164,173千円の資金の使用）となりました。これは主に借入金の返済による支出△99,996千円、配当金の支払額△45,456千円によるものであります。

## (4) 今後の見通し

システム開発事業においては受注案件の増加の傾向が予想される一方で、アウトソーシング事業においては継続案件の縮小や価格競争など依然として厳しい状況にあります。このような状況下、当期において大幅な受注損失を計上した開発案件も、抜本的な開発計画の見直しを実施しており、今後の業績への影響は限定的であると見込んでおります。また、データ入力受託業務における契約及び法令違反が発生したアウトソーシング事業においても、抜本的な組織変更、業務フローの見直し等の再発防止対策を実行しております。2020年3月期も引き続き受注確保、品質及び顧客満足度の向上を追求し、着実な収益向上に取り組んでまいります。

当社グループの2020年3月期の連結業績につきましては、以下のとおり見込んでおります。

	連結売上高 (千円)	連結営業利益 (千円)	連結経常利益 (千円)	連結当期純利益 (千円)
2019年3月期	9,084,205	39,932	51,175	105,421
2020年3月期	9,293,278	227,669	232,669	121,932
増減率(%)	2.3	470.1	354.6	15.7

上記の業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、様々なリスクや不確定な要素などの要因により、実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は現在日本国内に限定されており、海外での活動がないことから、当面の間日本基準を採用することとしております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,526,985	2,543,570
受取手形及び売掛金	1,600,968	1,547,362
商品及び製品	21,746	28,964
仕掛品	71,781	126,005
原材料及び貯蔵品	18,387	16,654
その他	92,179	82,290
貸倒引当金	△1,011	△1,140
流動資産合計	4,331,037	4,343,708
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	416,862	425,656
減価償却累計額	△272,073	△282,523
建物及び構築物(純額)	144,788	143,133
土地	107,273	107,273
リース資産	26,780	17,030
減価償却累計額	△14,262	△12,766
リース資産(純額)	12,517	4,264
その他	254,739	270,306
減価償却累計額	△225,228	△228,940
その他(純額)	29,511	41,366
有形固定資産合計	294,090	296,038
無形固定資産		
のれん	512,059	557,172
ソフトウェア	4,178	3,361
その他	9,969	7,644
無形固定資産合計	526,208	568,179
投資その他の資産		
投資有価証券	107,743	77,962
長期貸付金	2,419	1,336
繰延税金資産	295,323	325,530
その他	301,508	297,706
投資その他の資産合計	706,995	702,536
固定資産合計	1,527,294	1,566,753
資産合計	5,858,331	5,910,462

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	18,502	43,682
1年内返済予定の長期借入金	99,996	25,011
リース債務	6,878	3,330
未払金	612,591	617,319
未払法人税等	63,048	93,723
賞与引当金	191,543	164,190
受注損失引当金	—	203,304
受託契約関連損失引当金	—	58,177
役員退職慰労引当金	—	15,490
その他	230,909	248,339
流動負債合計	1,223,470	1,472,567
固定負債		
長期借入金	25,011	—
リース債務	14,635	6,917
繰延税金負債	12,855	7,154
役員退職慰労引当金	57,885	40,480
退職給付に係る負債	642,290	459,972
資産除去債務	2,901	2,953
その他	7,113	6,460
固定負債合計	762,691	523,938
負債合計	1,986,162	1,996,505
純資産の部		
株主資本		
資本金	333,906	333,906
資本剰余金	293,182	293,182
利益剰余金	3,397,091	3,457,056
自己株式	△197,928	△198,105
株主資本合計	3,826,252	3,886,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,024	13,118
退職給付に係る調整累計額	12,892	14,798
その他の包括利益累計額合計	45,917	27,916
純資産合計	3,872,169	3,913,956
負債純資産合計	5,858,331	5,910,462



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	8,295,163	9,084,205
売上原価	6,685,392	7,584,026
売上総利益	1,609,771	1,500,179
販売費及び一般管理費	1,392,966	1,460,246
営業利益	216,805	39,932
営業外収益		
受取利息	116	59
受取配当金	3,248	2,816
保険事務手数料	584	547
助成金収入	16,633	13,472
持分法による投資利益	1,908	—
その他	1,244	815
営業外収益合計	23,734	17,710
営業外費用		
支払利息	1,097	468
支払手数料	—	6,000
営業外費用合計	1,097	6,468
経常利益	239,441	51,175
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	1,755	—
受取保険金	165	187
子会社株式売却益	—	255,535
特別利益合計	1,921	255,723
特別損失		
固定資産除却損	226	562
保険解約損	577	1,625
減損損失	2,060	15,221
受託契約関連損失	—	143,312
特別損失合計	2,865	160,722
税金等調整前当期純利益	238,498	146,177
法人税、住民税及び事業税	93,146	140,957
法人税等調整額	10,416	△100,201
法人税等合計	103,562	40,755
当期純利益	134,935	105,421
親会社株主に帰属する当期純利益	134,935	105,421

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	134,935	105,421
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,148	△19,906
退職給付に係る調整額	15,526	1,905
その他の包括利益合計	23,674	△18,001
包括利益	158,610	87,420
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	158,610	87,420
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	333,906	293,182	3,325,094	△197,928	3,754,255
当期変動額					
剰余金の配当			△62,939		△62,939
親会社株主に帰属する当期純利益			134,935		134,935
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	71,996	—	71,996
当期末残高	333,906	293,182	3,397,091	△197,928	3,826,252

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	24,876	△2,633	22,243	3,776,498
当期変動額				
剰余金の配当				△62,939
親会社株主に帰属する当期純利益				134,935
自己株式の取得				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	8,148	15,526	23,674	23,674
当期変動額合計	8,148	15,526	23,674	95,671
当期末残高	33,024	12,892	45,917	3,872,169

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	333,906	293,182	3,397,091	△197,928	3,826,252
当期変動額					
剰余金の配当			△45,456		△45,456
親会社株主に帰属する当期純利益			105,421		105,421
自己株式の取得				△177	△177
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	59,965	△177	59,788
当期末残高	333,906	293,182	3,457,056	△198,105	3,886,039

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	33,024	12,892	45,917	3,872,169
当期変動額				
剰余金の配当				△45,456
親会社株主に帰属する当期純利益				105,421
自己株式の取得				△177
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△19,906	1,905	△18,001	△18,001
当期変動額合計	△19,906	1,905	△18,001	41,787
当期末残高	13,118	14,798	27,916	3,913,956

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	238,498	146,177
減価償却費	22,049	20,597
のれん償却額	63,834	77,647
減損損失	2,060	15,221
子会社株式売却損益 (△は益)	—	△255,535
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,946	△21,847
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,828	6,634
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△224	91
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△31,000	203,304
受託契約関連損失引当金の増減額 (△は減少)	—	58,177
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	31,545	5,030
受取利息及び受取配当金	△3,364	△2,876
支払利息	1,097	468
売上債権の増減額 (△は増加)	△190,721	△166
たな卸資産の増減額 (△は増加)	24,066	△60,124
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,603	21,208
未払金の増減額 (△は減少)	106,345	△12,316
その他	31,204	44,425
小計	293,670	246,118
利息及び配当金の受取額	3,364	2,643
利息の支払額	△1,097	△468
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△73,913	△115,924
営業活動によるキャッシュ・フロー	222,023	132,369
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△41,314	△30,959
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△2,179	△1,346
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△149,772
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	215,191
事業譲受による支出	△15,000	—
その他	△13,301	△5,474
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,793	27,639
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
借入金の返済による支出	△91,663	△99,996
自己株式の取得による支出	—	△177
配当金の支払額	△62,939	△45,456
その他	△9,570	2,206
財務活動によるキャッシュ・フロー	△164,173	△143,423
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△13,943	16,585
現金及び現金同等物の期首残高	2,540,928	2,526,985
現金及び現金同等物の期末残高	2,526,985	2,543,570

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当期連結会計年度における重要な子会社の異動)

(連結の範囲の重要な変更)

第2四半期連結会計期間において、株式会社フォーの株式を取得し子会社化したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

第4四半期連結会計期間において、株式会社アイデスの株式譲渡により、同社を連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「システム開発事業」及び「アウトソーシング事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「システム開発事業」は、システムインテグレーション、ソリューションを行っております。

「アウトソーシング事業」は、データエントリー・サービス、ライブラリー・サービス、ビジネス・プロセッシング・サービス、コンタクトセンター、プロダクトサービスを行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理基準に基づく金額により記載しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			全社	連結 財務諸表 計上額
	システム開発	アウトソーシング	合計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	4,966,310	3,328,853	8,295,163	—	8,295,163
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,966,310	3,328,853	8,295,163	—	8,295,163
セグメント利益	140,307	76,497	216,805	—	216,805
セグメント資産	1,933,427	1,549,430	3,482,858	2,375,473	5,858,331
その他の項目					
減価償却費	11,191	10,858	22,049	—	22,049
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	6,308	42,514	48,822	—	48,822

(注) セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			全社	連結 財務諸表 計上額
	システム開発	アウトソーシング	合計		
売上高					
外部顧客に対する売上高	5,124,904	3,959,301	9,084,205	—	9,084,205
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,124,904	3,959,301	9,084,205	—	9,084,205
セグメント利益	△18,498	58,431	39,932	—	39,932
セグメント資産	1,659,950	1,695,397	3,355,348	2,555,113	5,910,462
その他の項目					
減価償却費	8,911	11,686	20,597	—	20,597
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	12,719	18,018	30,737	—	30,737

(注) セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。



## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

報告セグメントと同一のため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ピー・シー・エー(株)	995,943	システム開発・アウトソーシング

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

報告セグメントと同一のため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

## (2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ピー・シー・エー(株)	1,002,026	システム開発・アウトソーシング

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	システム開発	アウトソーシング	全社	合計
減損損失	—	2,060	—	2,060

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	システム開発	アウトソーシング	全社	合計
減損損失	—	15,221	—	15,221

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	システム開発	アウトソーシング	全社	合計
当期償却額	24,971	38,862	—	63,834
当期末残高	181,308	330,751	—	512,059

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	システム開発	アウトソーシング	全社	合計
当期償却額	25,008	52,639	—	77,647
当期末残高	156,300	400,872	—	557,172

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	1,107.40円	1,119.39円
1株当たり当期純利益金額	38.59円	30.15円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	134,935	105,421
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	134,935	105,421
普通株式の期中平均株式数(千株)	3,496	3,496

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4. その他

(役員の変動)

##### 1. 代表取締役の変動

該当事項はありません。

##### 2. その他の役員の変動

###### ・新任取締役候補

取締役 松崎 吉宏

取締役 吉峯 英彰

社外取締役 梶本 繁昌

###### ・退任予定取締役

取締役 坂川 進

取締役 大倉 志郎

##### 3. 就任予定日

2019年6月25日